

# 「家庭教師は資格や履歴書で決まり!？」

私達も最初はそう思っていました。でも、あのお母さんに教えられたことは・・・

「資格をもってる先生を用意して下さい」

「新聞を読んだので来週からでもすぐに来てほしい」ととても嬉しい事でした。立ち上げ当時のスタッフでは担当しきれなくなった時に、はやく準備をして家庭教師のスタッフを派遣するには、「○△大学○▽部で□☆の資格を持っています」

「○△法について研究をしていました」

「以前、○△学校で教員をしていました」・のスタッフを集め、「こんな要望ですけどできますか?」「はい。大丈夫です」と簡単な連絡をし、低料金で家庭教師を派遣していたと

きがありました。GSC 99年立ち上げ当時のことです。しかし、派遣してまもなく「全然、うちの要望を聞いてくれない」「本当に○△大学で資格を持っている人なんですか?」

「子供が嫌がっているので他の先生を用意してほしい」とたくさんクレームが発生しました。一方、立ち上げ当時のスタッフが担当する子供のお母さんからは「いつも、うちの要望を取り入れてくれる。ありがたい」「子供は先生が来るのを楽しみにしている!」とコメントをいただきました。

クレームがでるスタッフと、喜ばれているスタッフ。

「でもやっぱり、資格や大学名があったほうがいいだろう」と約1年間同じ形態で続けました。しかし、でる結果はほとんど変わりませんでした。「もう資格や履歴書だけで判断をしてスタッフを派遣するのをやめよう。そして、必要な費用改定をしよう」これがGSCの出した新しい方向性でした。

「研修を合格したスタッフです」

最初に取り組んだことは、資格や履歴書だけで判断しないこと。持っていないなくても、GSCの大切にしていることを「研修」という形にし、合格をしなければスタッフとしないことです。研修は、挨拶や言葉使いから始まります。各コースに「明るく・元気に・真剣に」などの合言葉があり

各コースに「明るく・元気に・真剣に」などの合言葉があります。次に、「要望を取り入れる」ということを誰が見ても

わかるように、毎月の要望を表す「月間レポート」の作成方法。毎回の指導に目標があつてどんな予定で指導をするのか、教え方はどうするのか、子供の結果と様子はどうか、

かを表す「指導報告書」の作成方法。また、GSCは指導後に必ずお母さんと指導結果・次回の指導の要望を提案、相談する「報告時間」を設けています。このときの「保護者対話」の方法。さらに、訪問先を出たあとすぐに、その日の子供の様子やお母さんの要望を連絡する「一言メール」の送信方法。指導現場ビデオ研修。各内容すべて筆記試験を設けて

います。これらの研修を実務研修と呼んでいます。そして、実務で学んだことが現場に行つて実践できるかの現場研修の2部構成になっています。最近の報告では、研修に10人

トライして合格者は3人が平均となっています。結果的に資格を持っているスタッフの中にはいますが全てではありません。このスタイルで6年目になります。



GSC記事掲載の抜粋  
現場研修をしている女性スタッフと担当の男性スタッフ  
です 2000/11/25 朝日新聞

「スタッフ(指導者)が学習し続けること」

指導に対する準備・振り返り・をスタッフ自身が継続的にすること。そして、私たち組織が学習できる環境を提供し続けること。題を決め全スタッフが、学習をしています。

国語や算数などの科目指導を項目ごとに関し、講義・グループ形式で意見を出し合い次の指導へなげています。

GSCの取り組みは、現在まで15回新聞記事等で紹介されました。

←指導報告書と月間レポート↓  
GSC 月間レポート

◆ 03月期目標

国語	文作リ:カードを使って文を作ることができる 文章読解:絵本の読解が出来る
算数	数:100以上の数が書ける、読める 筆算:引けるから引けないかわかる

◆ 週間目標

第1回目	指導日 02日
国語	文章問題:「かんこちゃん」 文作リ:主語・目的語・動詞を選ぶ 「〜食べます」
算数	お金:10円から50円 筆算:引けるから引けないかわかる 確認

第2回目	指導日 09日
国語	文章問題:「かんこちゃん」 文作リ:主語・目的語・動詞を選ぶ 「〜かきます」
算数	お金:50円から100円 筆算:10の位から借りることができる (変更点)お金:10円から50円

一言メール↓

13:00 15:00 ☆ 充実した一時間半です。ホワイトボードの指導がうまくいきました! 四月からは1400開始になります。宿題作成一回分

■ 指導内容

指導予定	スタッフの対処方法	評価	結果・様子	保護者コメント	今後の改善策
①文作リ ・答える*カード	これは?→※これは何しているかな?	A	・できた。それぞれ何をしているのか正確に答えることが出来た。		
・選ぶ ①主語②目的語③動詞	予めグループで言葉を書けておく だれが?→選ぶ 何が?→選ぶ どうしてるの?→選ぶ	A	・わざと間違えたりしたが、それぞれ選べた。絵だと私と女の子の違いがわかりにくい	・まゆちゃんの写真を付けてもらおう	
・書く確認 ※絵を見てそれそれ書く	だれがだったかな? 何をか? 何しているのかな?	B	・「女の子」→「女の子の」になる。そのような間違いはあるが、書くべき言葉は理解できている。	・言いながらやっていると、いまいちあまいなところがあるようですね。この方法でいいですか?	
②国語:文章読解 ・読む ※「かんこちゃん」	ゆっくり読もうね→※今日はこのページ、ゆっくりゆっくり読もうね。丁寧に	B	・「かんこちゃん」が言えなかった。どの話をするのか楽しみな様子。	・小さい字のオンパレードですね。今日は家に帰ってこず、たくさん読みました。どうしてまっすぐ帰って来なかったの?このことができないのでしょうか?	・まっすぐ家に帰る絵があれば取り上げて一緒に取り組む
・答える ※内容の確認	これは誰かな? 何をしているのかな?	A	・できた。それぞれ答えることが出来た。		
・選ぶ ①いっ ②名前	①これはさむい。いつの話だったかな? ②この子の名前は何?	A	・できた。3択では選べた。ふざけて全てでこのをつけることよなかった。		
・書く ※名前	ゆっくり書こうね→※ゆっくり書こうね、よく見て書いて。何か困ってるんじゃないかな?	B	・小さい字が2文字以上出てくるとどきどき。諦めずに取り組めた。	・そうですね。今日はおとなしかったんですね。最近学校でも指示されたことに対してよく取り組んでいるようです。	
・線結び ※擬声語と動詞	ハ〜とどきどきするんだよ、と実際にやってみる	B	・実際にやったものまでできた。水をシューッとかけるなどではできなかった。	・そうですね。まだ難しい言葉はありますね	・身近で使うものから出す
・なぞる ※ひなまつりの歌	歌う 「ひなまつりにね、ゆくりね」	A	・歌があることで楽しくできた。		
③算数:筆算 ・計算する ※繰り下がりのない計算確認	いくつ○を書く? いくつ○を消す?	A	・できた。7-6などは暗算でできた。	・へー本当ですか?〜 できたんです	
・計算をする ※繰り下がりのない計算	難しい場合は 「いくつ○書くの?いくつ消すの?」	A	・できた。繰り下がりがしつかりとできる。		
・引ける式を	「いくつある?10個ちょうだい」	A	・自信を持って取り組める		

また、科目や教材の学習だけではなく、対話、情報整理などで役立つコミュニケーションングを常に取り入れています。指導の結果を会話で伝え、さらに、月間レポート、報告書の書面での情報整理をする。これが私たちの基本スタイルです。



「グループごとに、教材案を出しあい、作成している場面です！」

## 「経験豊富なサポートスタッフがいる」

GSCには、現場のスタッフをサポートする「サポートスタッフ」がいます。数多いスタッフの悩みや相談をないがしろにせず、親身になってサポートをするスタッフです。

電話やメール、事務局での個別のサポート。また、実際に現場へ同行をして指導のサポートもしています。



「サポートスタッフによる  
講義場面です！」

一定の指導期間と保護者からの評価、実績、事務局内からの評価が得られれば、サポートスタッフの研修に参加することができます。

学生だから社会人だからという安易な選抜ではなく、スタッフでの評価・実績をもとに、特別な研修の結果で選抜しています。

GSC スタッフの声です！どうぞ、お読み下さい。

【感想】お疲れ様です。今日の会議は沢山のスタッフに会えて嬉しかったです、同じスタッフと話すのでもメンバーが違くと話の広がりや全く違うのでより多くの意見や案が聞けて楽しいです。会議に出る度に、原点を忘れてないか？振り返ってごらん、と問いかける手助けをしてもらっていると感じます。毎回自分のあるがままの今の姿をみつめ、模索して、自分に気付くという自分を掘り起こす作業が、おごらず常に生徒と一緒に歩めるスタッフをつくっていると感じるし、自分も育てられ、それを指導へつなぐことができていると感じます。またお話し聞けるのが楽しみです。(29歳・社会人)

【感想】すごく楽しかったです。代表が名前を覚えて下さって嬉しいです。

今日感じた事で、ガッツの、このような明るさ、向上心は無いと思います。一人一人の向上心とそれを伸ばせる環境を与えてくれるガッツの存在は私にとってすごく居心地がいいです。明日の最後の同行と来週からの指導を前にすごく硬くなっていたのが、本当に一気に吹き飛びました！困難にぶつかってもこれだけ支えて下さる人がいるんだと思うと安心します。(20歳・大学生)

【感想】今日のスタッフ会議はとても学ぶものが多くありました。会議の進め方がとても良かったと思います。中村先生が説明される前にマインドマップを自分で書き、グループで意見交換をした後に中村先生のご説明があるという進め方が、様々な意見や考えがあることがわかり、今後自分が指導する中で使っていくことができる材料をいただけたと思います。私のグループはほとんどの方がまだ現場に出られていない方たちでしたが、研修以外にスタッフ会議で、必ずと言って良い程の直面する筆圧や鉛筆の持ち方に対する対応を学べるのはうらやましい気持ちでした。何かできるようにするための目標が出たとき、そのことだけに集中しすぎてしまうのではなく、違う方法で積み重ねて指導していくことが子どもも飽きることなく、着実に力をつけていくのだと感じました。次回のスタッフ会議も楽しみにしています。(24歳・社会人)

【感想】今月のスタッフ会議も沢山のスタッフが参加しており、活気があったように感じます。先月も感じたのですが、研修中のスタッフが研修中であるとは感じられないくらい非常に think and listen ができているのが驚きです。研修スタッフの元気よさに負けずに自分もやっていきたいと思いました。またマインドマップを聞いてもらった際、問題点は子どもではなく自分の対応にあると相手から指摘され驚きでありつつも大きな発見でした。できなかったことがあったり、子どもが泣いて抵抗してきたとき、なぜ抵抗したのかの問題ではなく、どう対応していけば子どもが取り組んでいくのかを考えていくのが課題なのだと感じます。スタッフと交わる時間を持つことで視野が広がると改めて思ったスタッフ会議でした。(25歳・大学院生)

【感想】東京の先生方や、初めてお会いできたたくさんの先生方と語り合え、共感しあえ嬉しかったです。また青木先生のご説明では、私が指導している内容ばかりで、教材をふくめ、発想など気持の持ち方、たくさん学ばせて頂きました。代表をはじめ分かりやすく、楽しく皆さん話をしてくださり、たくさんの元気を頂きました。ありがとうございました。(22歳・大学生)



# 「ここまでやってくれるのはありがたい」

この研修システムを開始した当時は、

「すぐに来てくれなければいいです」「資格がなければいいです」というお言葉を頂くこともありましたが、最近では、

「ここまでやってくれるのは親としてもありがたい」「こんなに親身にやってくれて安心していい」と喜ばれているお言葉をたくさん頂くようになってきました。はやくすること生

じる問題をじっくりと時間をかけることで事前に防ぐシステムをとってよかったですと痛感しています。

こういつた声をGSCでは毎月「保護者アンケート」を通して、ご家庭からフィードバックを頂いています。そこには、1ヶ月間を振り返って「指導の満足度」や「感想」「こんな取り組みがあれば」などが書けるようになっていきます。実際に、

体育・遊び相手の「レッツ」、勉強が苦手な子供達、限定の「ハーツ」もアンケートに要望としていただいた声の集まり

が大きなきっかけとなりました。また、GSCからは、毎月「ニュースレター」を会員様に発行しています。生徒とスタッフの指導経過を物語風にした内容、アンケート結果の抜粋やGSCの取り組みをまとめた内容になっています。

「私達に共感していただけるご家庭に」

以上が、GSCのスタイルです。

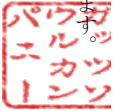
資料内容は私たちの取り組みを文面で表したものです。

資料を読まれて「でも、やっぱり資格や大学名が・・・」と

思われる方はご遠慮下さい。

数ある家庭教師の中で、GSCは、子供一人ひとりに、保護者の方々に常に意欲を持ち続けたい。そして、GSCスタイルに共感していただけるご家庭に、気持ちよく、意欲のある指導を提供し続けたいと全スタッフが思っております。

お問合せありがとうございます。



## 13才・男子(大阪府)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

子供への接し方や良い方法をいつも教えてくれている姿勢に感謝します。  
とても気さくな態度で、私の方が知らないことを先生から教えてもらい、勉強になります。

## 7才・女子(東京都)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

3回目の指導でやれなかった指導を受けることが出来たこと、先生との関係も慣れてきたように感じます。  
勉強が苦手な私に「こんな本もありますよ」と教えて下さったり、娘に対する態度も「頑張ろうね!」と励ましてくれて下さいます。

## 9才・女子(東京都)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

子供への接し方や良い方法をいつも教えてくれている姿勢に感謝します。  
とても気さくな態度で、私の方が知らないことを先生から教えてもらい、勉強になります。

## 9才・男子(大阪府)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

子供が先生が来るのを楽しみにできるように、できた課題です。とてもニコニコして楽しんでいるのを見て、とてもうれしく思います。  
内容も子供の好きな変化や課題を盛り取りながら楽しく取り組んでいます。

## 12才・女子(京都府)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

前回の指導で先生と工夫し、今回少しは理解できたように、とても工夫してくださったのを見て、先生、本当に本心が伝わっているのかな?と思う時があります。  
親が思っているよりも、子供はもっと頑張っているよ、と思える時があります。  
子供が先生のお話を、本当に聞いています、本当に楽しんでいます。  
4月から中学生になり、どういふ勉強の勉強にはなるかわかりませんが、それなりに頑張っています。

## 9才・女子(東京都)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

今月は、妹の突然の入院というアクシデントにみまわれましたが、週1度は吉井先生がお勉強を見守ってくださると思うと、その日は安心して勉強(和が落着いて家に居られること)ができました。いつもニコニコの笑顔で一生懸命指導してくれて、感謝です。

## 9才・男子(兵庫県)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

いつもどんな時も元気一杯、笑顔一杯で「子供が大好き!」という言葉を先生から。子供の小さな反応や進歩に敏感に反応して下さるので、私(母)は安心してお任せして報告も伺うのが楽しみです。先月あたりから2語の単語が読めるようになったのには驚いています。これからの成長が楽しみです。

## 9才・女子(東京都)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

先生に来ていただける様になり、彼も楽しみにしているようで、家もいつもよりぬいもかたづけて、先生来るのが楽しみです。嬉しそうに聞きます。  
教材も彼が100パーが大好きだと言え、100パーのかたちをダンボールを切って100パーのかたちのボクを作ってきてくれたりするので、彼も関心を持って取り組んでいると思います。

## 9才・女子(東京都)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

常に子供の現状を把握に頂いているので、指導内容、教材の中に新鮮で魅力的な要素が組み込まれています。指導者の説明の特点で、子供の意欲をかきたて、集中しながら楽しく勉強しているのを見て、週1回の指導をとても楽しみにしています。

## 7才・女子(神奈川県)

2. 今月を振り返って、「担当スタッフの良かったところ」をお聞かせ下さい。

先生はとても元気がよく、すぐにふれをまわして、子供を上手にリードしてくれます。夫も、「良い先生を見つけて下さって本当に良かったね」と言っています。

最後までお読みいただき誠にありがとうございました。  
共感いただけた方は、次の「体験指導」をお読み下さい。

会員の心なごむ「声」です。どうぞ、お読み下さい。